

Masters

president, owner, director, boss, leader, captain.....

マスターズ——日本経済の未来を創る経営者たち

2019. 1
January
Vol.37 No.448

特別取材企画

地域に生きる

企業は人なり—その人物像を探る
技を極めた匠
健やかな日々を支える医療
心に寄り添う介護・福祉
EXPERT'S EYE
明日を照らす教育現場
社寺聴聞
逸店探訪

巻頭特集

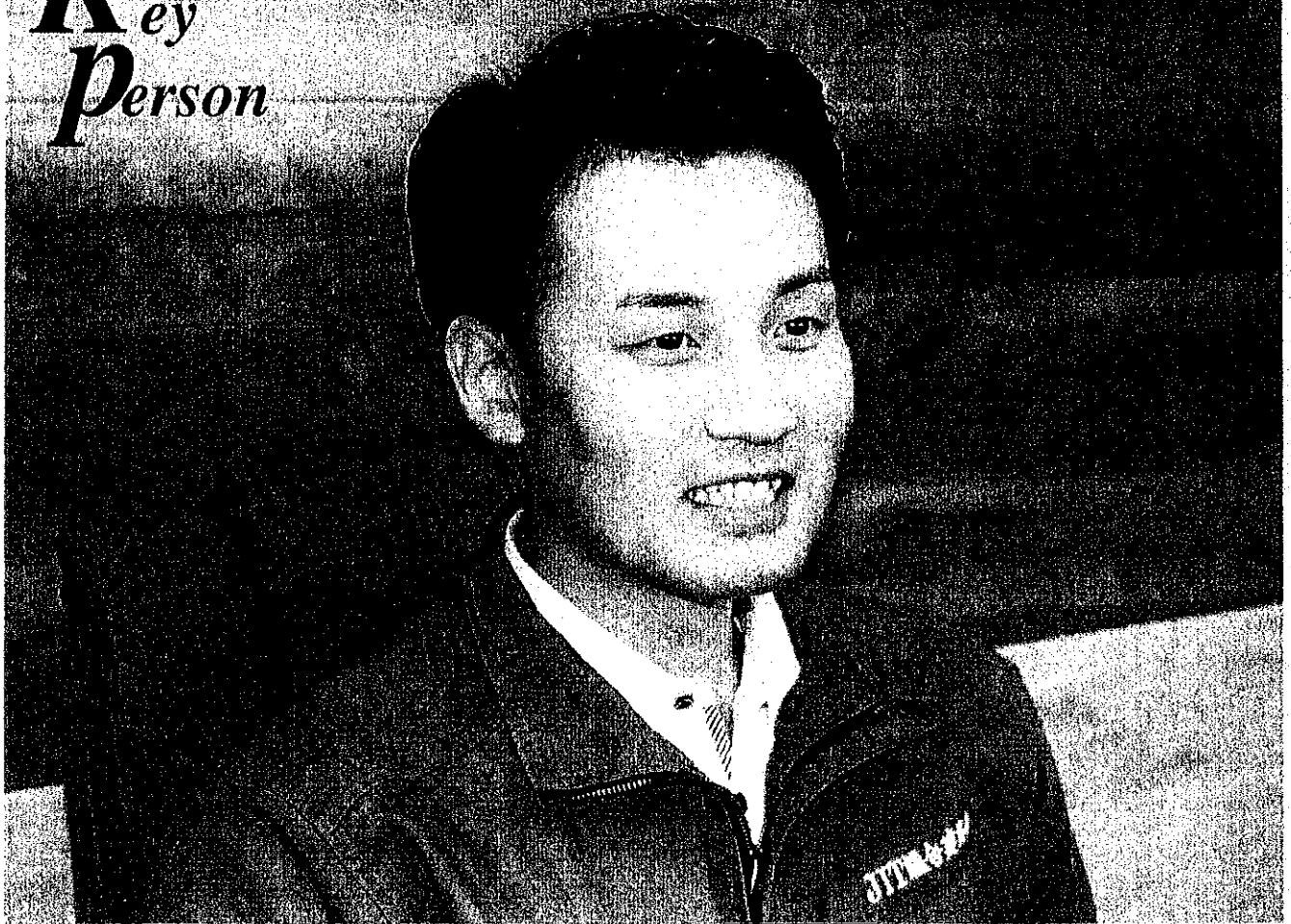
日本の未来をより良く変える鍵となる 経営者たちの子育てを探る

Current Topics/Column

健康的な食生活を送るために 食の“安全”と“安心”を考える
遅れる女性の政界進出 日本における問題と課題
些細な変化が大きな進化 社内緑化のすすめ

日本国首相 安倍 晋三

Key
Person



JIT 総合建築(株) 代表取締役

安田 英輝

10代から独立を視野に幅広い経験を培い、建築業界で起業を果たした安田社長。創業当初、現在事業柱に据えるリフォーム工場の経験が乏しい中で、仲間とのチームワークを強みに試行錯誤を重ねて、見事に事業を軌道に乗せた。「皆がいなければここまで歩んでこれなかったでしょう」と感謝の気持ちを語る社長が掲げる次なる目標は、飲食業界への参入。挑戦を続ける社長の行動の根底にあるのは、「事業の発展を通じ、仲間の生活をより豊かにしたい」という想いだ。スタッフの存在を原動力に、果敢に挑戦を続けていく。

(対談記事は 52～53 頁に掲載)

「スタッフ皆が豊かで幸せに暮らせる——
そんな目標に向かって挑戦を続けたい」



仲間との絆を強みの一つに 高品質なリフォーム工事を

店舗や一般住宅などの建築・リフォーム工事や、土木・解体工事を手掛けていた『JIT 総合建築』。スタッフ同士のチームワークを強みに、一つひとつの現場で丁寧な施工を続け、着実に信頼を蓄積している。本日は同社をタレントの新山千春さんが訪問。「仲間と仕事に打ち込み、建築業だけにとらわれず、様々な挑戦をしていきたい」と意欲を語る安田社長にインタビューを行った。

10代から独立を目指し
様々な経験を培う

——『JIT 総合建築』さんの事業内容からお聞かせ下さい。

建築・リフォーム業として、店舗や住宅の内装・外壁・屋根・エクステリアなどの改修工事を手掛けている他、土木・解体工事業として、道路の安全施設工事やワイヤーメッシュの搬入・敷き込み工事、解体工事を行っています。

——幅広く手掛けておられますね。では次に、安田社長が起業されるまでの経緯を伺います。

中学・高校時代はラグビーに打ち込ん

でいました。ポジションはセンターとフルバックで、チームをまとめる役割を務めるなど貴重な経験を積ませてもらいました。少し話が逸れますが、今、私の右腕として活躍してくれている男性スタッフの1人とは、ラグビーをしていた当時の付き合いなんです。高校卒業後は建築会社に入社し、4年ほど現場仕事に携わって腕を磨いてきました。

——そのころから独立をお考えで？

ええ。独立心は18歳から持っていました。ただ当時はまだ社会人としても未熟でしたし、特に建築業界での独立にこだわっていたわけではなかったの、幅広い経験を培うために飲食業界へ。大阪

のミナミにある飲食店で店長を務め、マネジメントやお金の流れなどを学びました。その後、再び建築業界に戻り、建築業で独立。それが27歳ごろのことです。

■ 仲間の存在を支えに
建築業界で道を切り拓く

——独立されてみて、いかがでしたか。

以前勤めていた建築会社では、今当社がメインとしているリフォーム業には携わってきませんでしたから、勝手が分らず大変でしたね。それでも、高い技術力を持つ仲間たちが支えてくれたので何とか続けていくことができました。



ジェイアイスルー

JIT 総合建築 株式会社

大阪府大阪市生野区勝山北 1-22-4

チームワークを強みに躍進する



安田社長を日々支えておられるスタッフの皆さん

中学・高校時代はラグビーに打ち込み、センターとフルバックのポジションを担っていたという安田社長。フルバックはチームの最後尾に位置し、最終的に得点につなげるボックスたちを統率する最後の要だ。その役割は多岐にわたり、味方に指示を出す冷静さはもちろん、自陣をカバーするために相手ボックス陣に負けないスピードと当たりの強さといった身体能力の高さも求められる、重要な役どころだ。

こうした全体を見て統率を図るスキルは現在の建築業においても遺憾なく発揮されている。その証拠に、『JIT 総合建築』のスタッフの一人に社長の印象について訊ねると、「私たちスタッフを先頭に立って引っ張ってくれる頼もしい存在です」と語る。また、社長は自分を支えてくれるスタッフたちについて「彼らがいてくれたからこそ、ここまでこられた」と話し、今後も皆が豊かな生活を送れるように努力を続けていく構え。「One for all, All for one」の精神で、さらなる高みを目指していく。

初は2人からスタートし、今は十数名で動いています。そのうちの半数は創業当初からずっと一緒に働いてくれているメンバーなんです。

——気心の知れた仲間が支え続けてくれるのは、とても心強いですね。いつごろから事業が軌道に乗り始めたのですか。

独立から約2年後でしょうか。それまでは試行錯誤の連続でした。リフォーム業はお客様の理想を形にする仕事——ニーズに応えようと必死になるあまり、翌日の朝まで仕事をすることもありました。それでも文句も言わずについてくれた皆には、感謝の一言に尽きますね。個人事業からスタートし、2年後には法人化を果たせたのも、皆が頑張ってくれたお陰だと思います。

——大変なことも多い中で、力を合わせて一歩一歩着実に成長を続けておられるのですね。このお仕事のやりがいは、どんなところにありますか。

お客様に喜んでいただけることはもちろん、今の仲間と一緒に仕事ができることが何より嬉しいですね。ただ、建築業は好きですが、「絶対にこの仕事でなければいけない」という執着心は持っていないので、今後は異業種にも挑戦し

ていきたいと考えているんですよ。

——何か具体的に思い描いておられるのでしょうか。

ええ。まずは、今当社の中で一緒になってしまっている営業専門の部署と現場での施工を専門とする部署をそれぞれ別々の会社に分けたいと考えていますね。それらが安定すれば、信頼できる仲間の誰かに会社の運営を任せて、私は飲食関連の会社を立ち上げ、計3社で事業を推進していきたいと思っています。ただ、以前働いていた飲食店では、本格的に調理を経験してきませんでしたから、それだけがネックです（苦笑）。ですが、私には明るく元気で、様々な経験をした仲間たちがいます。彼らがいてくれれば、

どんな壁でも乗り越えられると思うんですよ。ですから今とにかく行動に移すことを大切に、今後も業種にとらわれず、様々なチャレンジを続け、皆が豊かで幸せな生活ができるよう努力を続けていく所存です。

——私も応援しています！

(取材／2018年10月)



「独立を目標に、10代から建築業界や飲食業界で経験や技術を培い、満を持して起業を果たされた安田社長。事業を軌道に乗せるまでには様々な苦労を重ねられながらも、周囲の方と協力しながらじっくり取り組み、成長を続けてこられた粘り強さは素晴らしいですね。また、今後は建築業だけに限らず、飲食事業にも挑戦してみたいとのこと。今後も枠にとらわれない柔軟な姿勢で、皆さんとさらなる発展を目指していきましょう！」

ゲストインタビュー

新山千春

